2020年2月18日

各　位

会 社 名　株 式 会 社 キ ャ ン バ ス
代表者名　代表取締役社長　河 邊　拓 己
（コード番号：4575　東証マザーズ）
問合せ先　取締役最高財務責任者兼管理部長
加登住　眞（電話 055-954-3666）

＜マザーズ＞ 投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○　開催状況

開催日時	2020年2月18日　10：00～11：30
開催方法	対面による実開催
開催場所	コンファレンススクエア エムプラス （東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル10階）
説明会資料名	2020年6月期第2四半期決算説明会

【添付資料】

１．2020年6月期第2四半期決算説明会資料

以上

CanBas
Cancer therapy by Basic research

株式会社キャンバス
《証券コード:4575》
2020年6月期第2四半期
決算説明会

2020年2月18日

Part 1
2020年6月期第2四半期
決算報告・事業報告

2020年6月期2Q 決算報告

決算のポイントとトピックス

- 事業収益 55百万円
  - ✓ Stemline社とのCBS9106提携に基づく収益
    - 技術アドバイザリーフィー 55百万円（前年2Qと同額）
    - 2021年6月25日まで同額で継続
- 事業費用 323百万円 営業損失 267百万円
    - 開発費 115百万円
      - 期首予算額 304百万円
      - フェーズ1b試験拡大相（おもにMSS直腸大腸癌）の組入れ時期、費用計上時期に期ズレ発生
      - 通期ではほぼ変動なしの見通し
    - 基礎研究費：予算をやや下回る
    - 販売費及び一般管理費：予算をやや上回る
- 営業外損益
    - 支払利息・為替差損：いずれも大勢に影響なし

2020年6月期2Q 決算報告

貸借対照表概要

（単位：千円）

		2019/6期末	2020/6期2Q	増減（参考値）
資産の部	流動資産	844,096	1,385,641	541,545
	現金及び預金	763,674	1,328,705	565,031
	売掛金	61,442	1,506	△59,936
	固定資産	31,277	31,489	212
	有形固定資産	－	－	－
	資産合計	875,373	1,417,130	541,757
負債の部	流動負債	219,083	275,944	56,861
	固定負債	－	749,994	749,994
	負債合計	219,083	1,025,938	806,855
純資産の部	株主資本	575,429	303,351	△272,078
	資本金	4,514,392	4,514,392	－
	資本剰余金	4,501,242	4,501,242	－
	利益剰余金	△8,439,989	△8,712,025	△272,036
	自己株式	△215	△215	－
	新株予約権	80,860	87,840	6,980
	純資産合計	656,290	1,417,130	760,840

転換社債発行による現金増

Stemline社 技術アドバイザリーフィー入金

有形固定資産減損済

臨床試験関連の未払金増加

転換社債未転換

2020年6月期2Q 決算報告

損益計算書概要

（単位：千円）

	2019/6期2Q	2020/6期2Q	増減（参考値）
事業収益	61,002	55,432	△5,570
事業費用	296,937	323,361	26,424
研究開発費	190,462	197,497	7,035
販売費及び一般管理費	106,475	125,863	19,388
営業利益	△235,935	△267,909	△31,974
営業外損益	△988	△3,502	△2,514
経常利益	△236,923	△271,411	△34,488
特別損益	80,000	—	△80,000
税引前四半期純利益	△156,923	△271,411	△114,488
四半期純利益	△157,548	△272,036	△114,488

転換社債にかかる
支払利息

2020年6月期2Q 決算報告

キャッシュフロー計算書概要

（単位：千円）

	2020/6期2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	△190,539
投資活動によるキャッシュ・フロー	50
財務活動によるキャッシュ・フロー	754,146
現金及び同等物に係る換算差額	1,373
現金及び同等物の増減額	565,030
現金及び同等物の期首残高	763,674
現金及び同等物の四半期末残高	1,329,705

転換社債と新株予約権の
発行による収入

2020年6月期 業績見通し

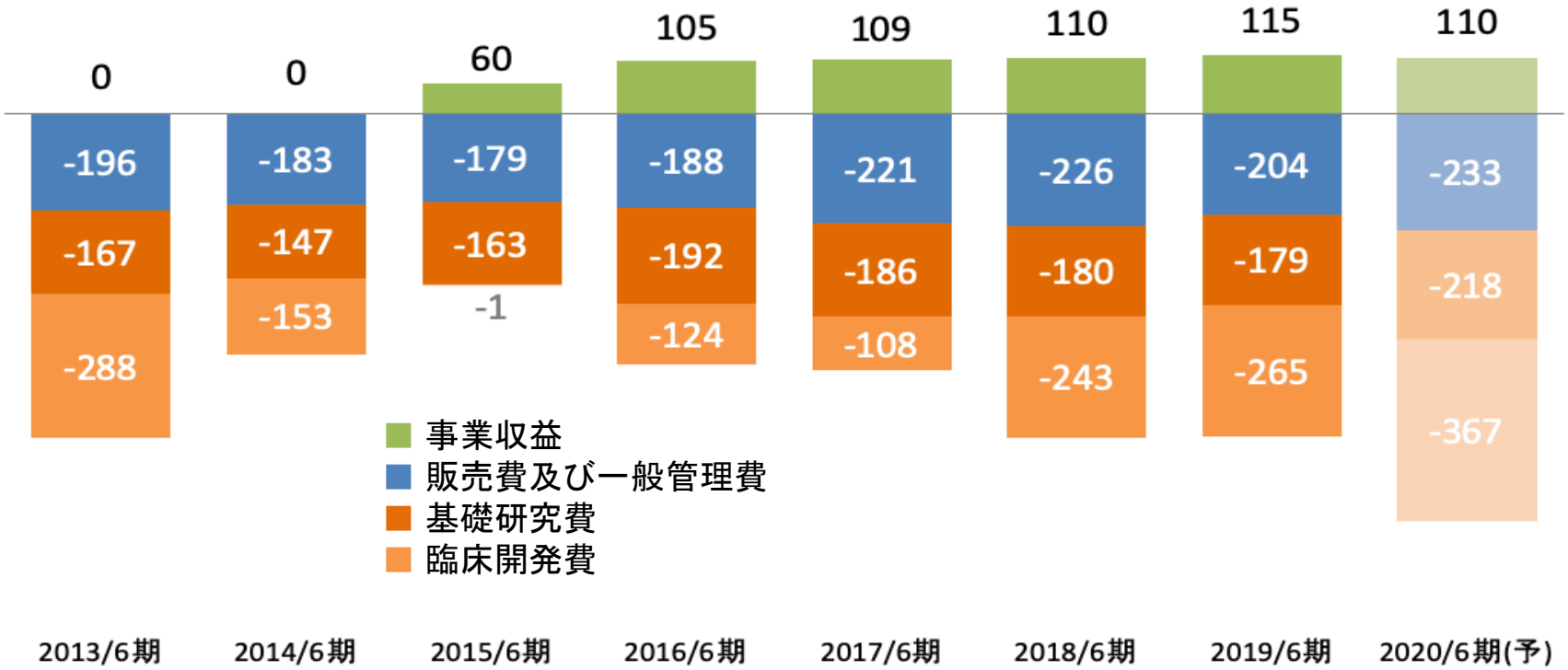
2020年1月27日修正

（単位：百万円）

	2019年6月期 通期実績	2020年6月期 2Q実績	**2020年6月期 通期見通し**
事業収益	115	55	**110**
事業費用	648	323	**819**
研究開発費	444	197	**585**
販売費及び一般管理費	204	125	**233**
営業利益	△534	△267	**△709**
経常利益	△454	△271	**△712**
当期純利益	△456	△272	**△713**

2020年6月期 業績見通し

- 事業収益：110百万円
  - ✓ 新規提携獲得による上積み実現が急務
- 事業費用：819百万円
  - ✓ 研究開発費 585百万円（**基礎研究費218百万円＋臨床開発費367百万円**）



2020年6月期2Q 事業報告

財務関連適時開示

アドバンテッジアドバイザーズとの事業提携・資金調達

➢ 事業提携契約締結（2019年10月10日）

✓ 事業支援を受ける内容

- 製薬企業等との提携（ライセンス契約、共同研究等）獲得支援、これに関する市場調査・事例研究報告等
- 投資家リレーション（IR）支援
- 当社の持続的成長にかかる組織体制強化、プロジェクトマネジメント支援

➢ 資金調達（同日公表・2019年10月31日払込完了）

✓ 第15回新株予約権 558,600株分 499百万円）

✓ 第3回無担保転換社債型新株予約権付社債 837,982株分 749百万円）

✓ 公表している資金使途と現状

- CBP501フェーズ1b試験費用・次相以降に使用する薬剤準備費用 → 支出中、発注済
- 運転資金 →支出予定時期未到来
- CBP-A08前臨床試験準備費用 → 転換・行使未了のため支出留保

Part 2
2020年6月期第2四半期
研究開発報告

2020年6月期2Q 事業報告

研究開発関連適時開示

CBP501 フェーズ1b試験拡大相

➢ 第1～2四半期の進捗状況公表

✓『事業進捗見通しの修正及びこれに伴う第2四半期及び通期業績予想の修正に関するお知らせ』(2019年12月2日)『第2四半期及び通期業績予想の再修正に関するお知らせ』(2020年1月27日)などで臨床試験進捗状況を公表

- 膵臓癌・・・評価不能発生による遅延への対応
  → 追加組入れ進み2020年2月頃までに評価可能10例に達する可能性
- MSS直腸大腸癌・・・ 組入れ促進策実施→ 2020年6月末までの組入れ完了を見込む

✓ 提携交渉

- 守秘義務契約下で、上記の公表情報に加え直近の臨床データを使用

CBS9106（Felezonexor、Stemline社における開発コードSL-801）

➢ ESMO2019での発表(2019年9月30日)

✓ 評価のポイント

- 重篤な副作用なく投与量依存的に薬剤の血中濃度が上昇
- 3つの既治療歴のあるMSS直腸大腸癌で長期にわたる部分奏効(PR)を達成

Part 3
基礎研究の近況
～癌免疫領域への集中と展開～

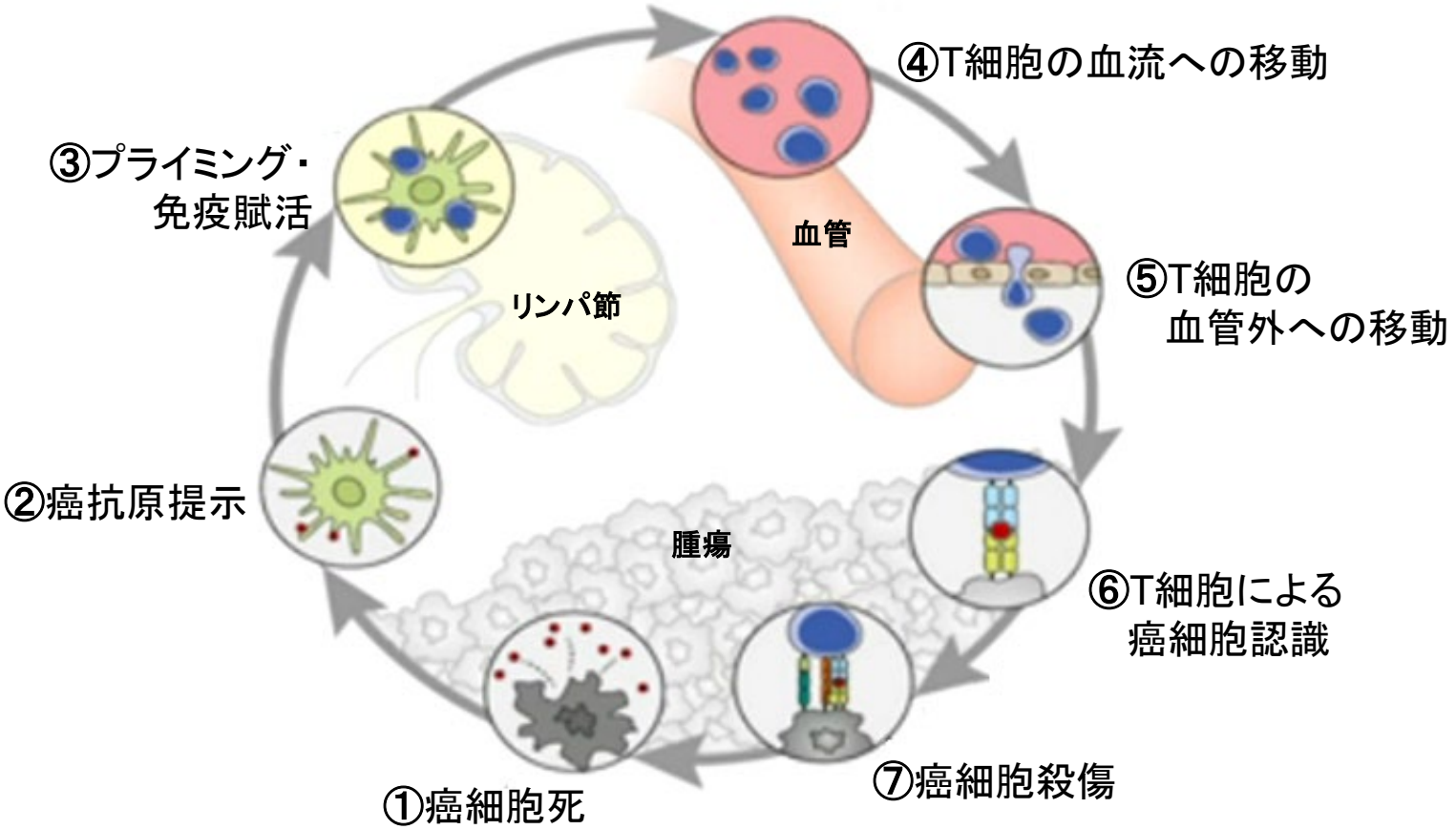
基礎研究の近況

後続の次世代パイプライン

由来	特徴・標的	探索・創出	最適化	前臨床試験
自社創出	**CBP-A** TAT-S216～CBP501の系譜に属する発展型	CBP-A08		
	CBP-B CBP-Aシリーズとまったく別の発想から作製したペプチド型免疫系抗癌剤			
ファルマバレーとの共同研究	**IDO/TDO阻害剤** 静岡県立大との共同研究			
	（ターゲット非公表） ファルマバレーのライブラリから探索・最適化			

富士フイルム株式会社、静岡県立大との共同研究

基礎研究の近況

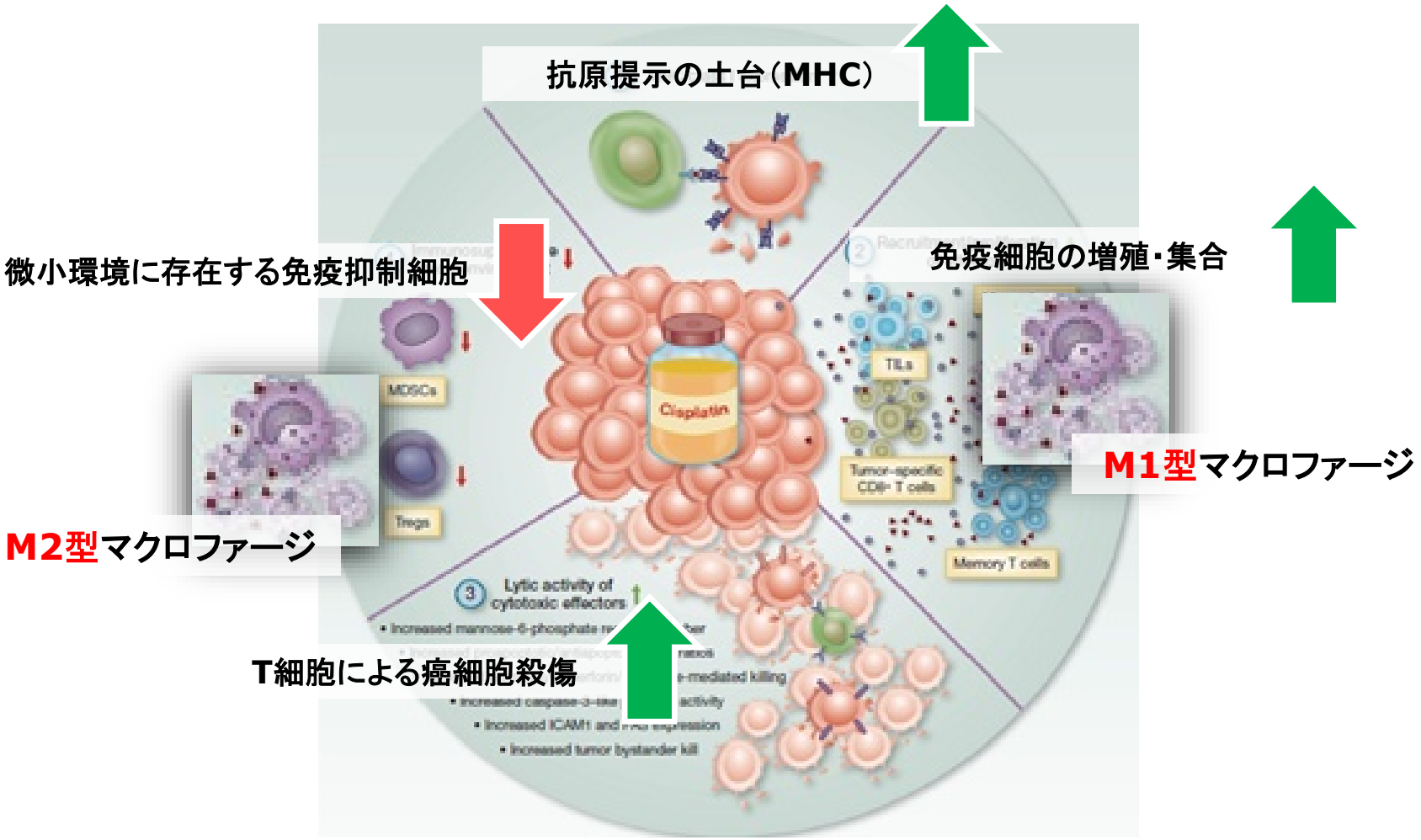


Chen and Mellman, Immunity 2013 を一部改変

基礎研究の近況

「従来型抗癌剤」と癌免疫

- 従来型の化学療法剤も免疫系に作用している（シスプラチンの例）



AACR資料を一部改変

基礎研究の近況

キャンバスの基礎研究は
「癌免疫領域」に特化へ

- キャンバスの次世代免疫系抗癌剤創出・開発
  - 免疫系抗癌剤パイプラインの充実
    - IDO／TDO阻害剤
    - 富士フイルムとの共同研究
    - CBP-B
  - 新たな免疫系薬剤スクリーニングを開始
    - 新規標的
- 免疫系抗癌剤薬効評価法の確立
  - 免疫系抗癌剤パイプラインの充実に伴う基礎的知見の蓄積

基礎研究の近況

キャンバスの基礎研究は
「癌免疫領域」へ

創業以来の
キャンバスの基礎研究

細胞周期

G2チェックポイント阻害

細胞全体の挙動に着目

フェノタイプスクリーニング

CBS9106

CBP501

CBP-A08

CBP-B

IDO/TDO

新規標的

新規標的

癌免疫領域に
集中・特化した
基礎研究

新たなパイプライン創出へ

CanBas
Cancer therapy by Basic research

- 将来見通し等に関する注意事項
  - 本資料は、当社に関する情報の提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
  - 本資料における将来予想・見通し等に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
  - 業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。
  - 本資料は、受領者がいかなる目的にご利用される場合においても、本資料受領者ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

- お問い合せ先：

株式会社キャンバス　管理部 IR担当
Email　IR@canbas.co.jp